令和7年度事業報告書

令和７年４月１日から令和８年３月３１日まで

特定非営利活動法人ＴＩＣＯ

１　事業の成果

アフリカ・アジア地域で地球規模の課題に苦しむ人々の自立支援と持続可能な社会の構築を目指し事業を行いました。

ザンビアでは「心臓血管外科手術技術移転事業」と「南部での干ばつ被害に対する緊急支援事業」を、カンボジアでは「JICA草の根協力事業」を継続しました。また、国内においては2022年から開始した「ウクライナ難民支援のための無料医療相談」および地球人育成事業として「講師派遣」を行いました。

詳細については下記のとおりです。

ザンビア医療協力事業　（心臓血管外科手術技術移転事業）

ザンビアのNational Heart Hospital において心臓血管外科スタッフ育成のための技術移転を行っていますが、2017 年8 月に開始した当事業は、2026年3月までに15回の専門家派遣による現地活動と4回の現地医療スタッフを日本に招いての本邦研修を行うことができました。

- **本年度の活動実績**

【派　遣】

1　**第14 回活動 2025年4 月4日から4月12日まで**

7名の専門家をNational Heart Hospitalに派遣し、現地の外科医師、麻酔科医師、看護師、人工心肺士にトレーニングを行いながら、5例の開心術を行いました。

症例はすべて成人であり、今回初めての術式となる冠動脈バイパス術2例が含まれています。

派遣者：　医師2 名、看護師1 名、臨床工学技士3名、調整員1 名

2　**第15 回活動 2025年8月9日から8 月18日まで**

8名の専門家をNational Heart Hospitalに派遣し、現地の外科医師、麻酔科医師、看護師、人工心肺士にトレーニングを行いながら、4例の開心術を行いました。

症例はすべて成人であり、初めての大血管の術式になる上行大動脈人工血管置換術を施行しました。

派遣者：　【派遣】　医師3 名、看護師2 名、臨床工学技士2 名、調整員1 名

【招　聘】

1　**第4回ザンビア人医師招聘日本研修 2026年2月1 日から2月28日まで**

令和8年2月にはザンビアから外科医師2名を招聘し、約1か月間、徳島赤十字病院と北播磨医療センターにて手術と人工心肺の見学を行いました。また、千葉で行われた第56回心臓血管外科学会学術総会に参加しました。

招聘者：ザンビア人外科医師2 名

カンボジア医療協力事業

カンボジアの北西部、バッタンバン州で2022年9月から実施していたJICA草の根技術協力事業が2025年9月に3年の契約期間満了を迎えました。この事業は高松市（自治体）が提案団体、ＴＩＣＯが実施団体、バッタンバン州保健局がカウンターパートとして実施した「カンボジアの救急医療に係わる研修コース・試験制度の構築と市民への応急処置法の普及事業」です。

当事業ではカンボジアの救急医療分野の研修コースとその習熟度を測る試験の整備、教育用テキス

トや動画などの教材、研修用資機材の配備、指導できる人材の育成を行うことでカンボジア人の医療従事者が自ら継続的に知識や技術の向上ができる環境を整えました。カンボジアではポル・ポト時代をはじめとする長年の内戦で人材が不足し、書籍が焼失したことで、医療分野に限らずカンボジア語で書かれた本が少なく、カンボジアでの医学教育は英語かフランス語だが、その英語やフランス語の医療用語の辞書もなく、調べる術もない状況でした。　そこで、当事業では制作したテキストに付随する形で、救急医療分野の用語辞書を作成しました。このテキストは保健省公認のテキストとして認可されています。
また一般市民に向けた応急処置法の普及にも取り組みました。イラストを多用したハンドブックを作成し、未だ伝統的な応急処置が実施されている地方で、協力団体（カンボジア赤十字など）にワークショップ開催を委託する形で適切な応急処置法について広報しました。公立病院の医師も入院患者の家族を対象に実施したり、学校からの依頼を受けて応急処置法を指導したりしており、TICOで制作したハンドブックが活用されています。ハンドブックは2万冊印刷し、これまでに13,000冊程度が配布済です。ワークショップは病院や学校での参加者をのぞいた数ではあるが、約7,000人を対象に実施し、９７％が正しい応急処置法を理解したと回答がありました。
2025年度は４回の派遣を行いました。詳細は下記参照ください。
当事業終了に伴い、JICAに提出する事業完了報告書と事業評価報告書の作成を行いました。報告会を2025年８月31日に高松市瓦町フラッグ８Fで実施しました。参加者は会場28人、オンライン19人で、JICA、高松市、NGO関係者、一般市民が参加しました。参加した香川大学教育学部附属高松中学校の教員から学校での講義の依頼があり、1月末に当事業に関して中学３年生を対象に講義をしました。

- **本年度の活動実績**

【派　遣】

1　**２０２５年5月１９日～5月２９日**

ポストテスト実施、インストラクターへのテスト実施方法の指導、資機材の配備状況の確認、サンパオルン病院に於いて救急対応についての講義を３日間実施しました。

派遣者：医師　高磯氏、　新田（プロジェクトマネージャー　以下プロマネと表記）

2　**２０２５年7月５日～7月１２日**

CPRや固定の仕方、ヘルメットの脱がせ方など救急搬送に関してインストラクターに指導ポイントを解説したました。制作した動画教材の使い方も伝え、その後インストラクターが医療従事者に講義を実践。その後、フィードバックを行うことで指導力の向上に寄与しました。

派遣者：高松市消防局　救急救命士　一二三氏／松本氏、医師　田淵氏、新田（プロマネ）

3　**2025年８月１６日～8月２５日**

インストラクターの心得、テキスト等の使い方の指導、保健省での打ち合わせを行いました。

派遣者：技術専門家　渡部医師、　新田（プロマネ）

4　**2025年９月１４日～９月１８日**

テキストの印刷、製本したテキストを保健省、JICA、カウンターパート、関係機関へ配布しました。

派遣者：新田（プロマネ）

【成果物】

カンボジア語での教材は以下の７種類

1）医療者のための救急対応テキストブック
2）動画群1 固定、観察（高松市消防局での撮影）
3）動画群2 気道、呼吸管理実技（岡山大学病院での撮影）
4）動画群3 初期評価、全身観察（専門家渡部の診療所で撮影）
5）動画群4 シナリオによる訓練（カンボジアで撮影）
6）医療用語の辞書
7）インストラクター用のテキストブック

ウクライナ支援事業

1　**日本国内の避難民への無料医療相談事業**

日本に避難してきたウクライナ人への支援として、ホームページを介してのウクライナ語対応無料医療相談を継続実施しましたが、相談はありませんでした。
避難民が来日してから年月が経ち生活も安定した影響か、無料医療相談のニーズが少なくなったと考えられるが、ホームページの窓口は継続しています。

ザンビア干ばつ被害緊急支援事業

1　**飢餓対策としての給食支援**

一昨年、エルニーニョの影響により南部アフリカ地域で発生した史上最悪規模の干ばつ。水源が枯渇し、深刻な食料危機に直面している子どもたちに対する人道支援として、ザンビア共和国 南部州ジンバ市で活動する現地 NGOKocebuka Community Foundationと学校給食の提供について業務委託契約を締結し、現地のCommunity　School(政府の援助がない学校)1校において学校給食を2024年9月より2025年6月まで提供。これにより、出席率の向上と栄養状態の改善が見られました。

2　**井戸設置による水源の確保**

また同校には水源がなく、学校から 3 キロ離れたところにある井戸まで毎日水汲みに行かねばならず、生徒への水提供など色々と問題があったため、TICO　ではさらに井戸を提供することを決定。2025 年 2 月より井戸掘削を行い手動ポンプ等を設置して施設が 3 月に完成。4月には現地視察を行い完成した設備を確認、健康衛生に欠かせない水源の提供に学校及びご父兄、そして地域の皆様からも多くの感謝のお言葉を頂戴しました。今後は学校側が管理を行い、修理点検等も随時行うことで、生徒と地域の皆様に活用してもらうことを想定しています。

地球人育成事業

1　**講演活動**

- **2026年2月8日**

IFMSA-Japan/国際医学生連盟日本の依頼を受けて、TICOのザンビア事業を紹介するオンライン講演会を開催しました。医療系学生を含む約30名が参加し，TICOスタッフと派遣メンバーが事業活動についての講演を行ないました。また，研修のために来日していたザンビア人医師２名も参加し，事業に関してのコメントをいただきました。

- **2026年2月24日**

ドナーであるエドワーズ・ライフサイエンス日本にて、ザンビア事業報告会を行いました。

- **2026年3月5日**

寄付を頂いた森山小学校5，6年生に向け、TICOザンビア事業の報告会を行いました。

2　事業の実施に関する事項

(1)　特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事　業　内　容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（千円）
生活向上の機会を著しく奪われている人々の問題解決への協力事業	ザンビア医療協力事業 ・心臓手術の研修および実施による0JT	年２回	ザンビア ルサカ市	８人	ザンビア共和国 National Heart Hospital /住民人2千人	15,384
	カンボジア医療協力事業 **・JICA草の根技術協力事業** **カンボジアの救急医療に係わる研修コース・試験制度の構築と市民への応急処置法の普及事業**	年4回	カンボジア 共和国 バタンバン州	７人	バタンバン州 医療従事者 及び 住民3万人	13,163
	ウクライナ支援事業 ・ウクライナ避難民支援 ・日本国内の避難民への無料医療相談	通　年	日本国内	3人	ウクライナ避難民 2000人	120
国内での開発教育に関する事業	広報活動 ・季刊誌の発行 ・ホームページ ・facebookの更新	年1回 通　年 通　年	事務局	5人	日本国内の支援者 ３００人	19
	地球人育成事業 ・講演会	年3回	事務局	3人	徳島県民　５０名 日本国内の支援者 100名	0
他の市民活動を行う団体の運営または活動に関する連絡，相談，助言等の事業	他の市民活動を行う団体との共同支援活動，他の市民活動を行う団体への相談，助言	随　時	事務局	1人	他の市民活動を行う団体（約20団体）	0
	事務局運営（管理費）	通　年	事務局	1人	全事業対象者	418

(2)その他の事業

実施した事業はありません。